

第4回 逗子海水浴場の運営に関する検討会 概要

日時：平成29年11月16日（木）

14時30分～16時30分

場所：逗子市役所5階 第4会議室

1 開会

事務局より、逗子海水浴場の運営に関する検討会（以下「検討会」という。）は傍聴できることと、報道機関の頭撮りについて説明した。今回は平成29年度逗子海水浴場（以下「海水浴場」という。）における検討会の報告書を作成するため、課題を整理し、条例等ルールや振興策などの来年度に向けた議論をする旨の説明。

2 議題

(1) 来年度に向けた課題の整理

- ・新宿自治会から資料「平成29年度海水浴場騒音等環境調査結果報告」を用いて、海水浴場の調査結果等の報告が行われた。
- ・前回の検討会で出された意見を整理した資料「平成29年度逗子海水浴場の運営に関する検討会報告書に記載する項目について」を用いて、各団体から検討会報告書に追記すべき事項を聞き取った。次のとおりであった。

1 条例・規則・ルールについて

(1) 利用者

② ルールを守らない利用者

<提案・意見>

- 警備員が、怖そうな人には注意していない時があり、注意しやすい相手を選んで注意しているように思える。
- 周知・啓発を継続して行い、そういう人が居づらくすることを続けるしかない。条例等ルールができる前に比べてずいぶん減った。

③ 入れ墨・タトゥーの露出

<提案・意見>

- 海岸ではルールを守るが、駅や街中で服を脱いで入れ墨・タトゥーを露出するという人もいるので、市全体でキャンペーンを張るなど、外の人に逗子の風土をみせる対策をした方がいい。
- 入れ墨・タトゥーを隠すシールを海の家で配布・販売等してみてもどうか。

- 外国人や若者は文化・ファッションで露出している。ルールでは禁止しているが、実態としては一律で守らせるのは困難である。

⑤ 水上オートバイ

<提案・意見>

- 今年の状態を来年も維持してほしい。

(2) 海の家

① 営業時間

<提案・意見>

- 今年は天気が悪い日が多く、海の家が 20 時前に店を閉めることもあったが、来年も同様に維持しても問題ないと感じた。
- 平日において、20 時前に閉店している店が散見され、全日 20 時までの営業が必要とされているかは疑問である。
- 20 時までの営業時間は長いという意見もあるが、天候や人員の確保等のことを考慮すると、20 時はあくまで上限であり、その範囲内で何時まで営業するかどうかは店の裁量に任せられるべきことだと思う。

② 海の家音楽・イベント

<提案・意見>

- 独自に海の家の BGM の調査を行ったが、近隣の住環境に悪影響を及ぼさない水準まで改善されている。
- 原則禁止は今後も継続していきたい。
- 地域の方が行うアコースティックライブ・フラダンス等のイベントはあってもいいかもしれない。
- 警察が、マイクを使って暴力団排除のキャンペーンを行ったことも踏まえ、結婚パーティだけに限らず、市が審査して問題がないと判断できれば、今後音を出すイベントがあってもいいのかもしれない。
- 近隣の住環境が静穏な状態で維持されているのは、海の家の営業に関するルールで、クラブ化、ライブハウス化、音楽イベントの禁止を定めているからであると考えられる。そのため、来年度以降もルールを緩和することのないよう要望する。

③ チェックリスト・イエローカード等ルール認識

<提案・意見>

- 海岸組合が自主的にルールを守ることが一番だが、抑止力になるので継続でいいと思う。
- チェックリスト・イエローカード方式は今後も継続していく方向性でいいと思う。

④ 海岸組合員によるマナーアップ警備員のパトロール同行

<提案・意見>

- パトロール同行の継続がルールの理解に寄与し、以前と比べて海の家に、ルールを守ろうという意識が感じられるようになった。
- 現状、パトロール同行回数は4回だが、砂浜の状況に応じて、同行回数を2回程度まで減らすことを可能にし、減らした分の人員で、帰りの客で混雑する街中のパトロール強化を図ってもいいのではないかと。
- 従業員が女性だけの場合も考えられるので、安全面を考慮して、警備員との同行を継続したい。

⑤ その他

<提案・意見>

- 海岸入り口通路の水たまりの具体的な対策が必要である。
- 3号通路付近に自転車やバイクが違法駐輪され通行の妨げとなっているため、市が設置する駐輪場への案内図等でアナウンスしたほうがいい。
- 黒門駐車場前から134号に入る道路において、満車待ちの車と信号待ちの車の区別がつかないことで日常的に渋滞が発生しており、危険である。黒門に警備員を雇うように依頼できないだろうか。

(2) 逗子海水浴場の振興について

- ・ ずし60'sから資料「海水浴客のリピーター推移」を用いて海水浴場の振興についての説明が行われた。各団体から出た振興案は次のとおりであった。

2 振興策の提案

<提案・意見>

- 夏に1回来たらもう来ないという人が多かったので、ワンシーズンで複数回来てもらえる方法を考えたい。
- 1日のうち、昼に遊んで、夜は夕涼みという楽しみ方の提案はどうか。
- 海に来て初めてイベントの存在を知ったという人もいたので、外出する前にイベントを周知できるような方法を考えていきたい。
- 毎年のリピーターをいかに増やすかという議論もあるが、固定客は年をとってやがて海に来なくなるとも考えられるため、新規客の獲得に注力すべき。
- SNS等では夕日を活かした広報活動を行ってもいいと思う。
- インスタ映えする海の家が今年人気だった。全体的にも意識した誘客を行ってはどうか。
- トイレを清潔な状態に保つことが大事なのではないか。
- 振興策は、海岸組合が努力するのが一番良い。

(3) その他

- ・事務局から今後の予定について次のとおり説明があった。
- 今後のスケジュールとして、報告書案は12月初旬に検討会メンバーへ発送する。意見等あれば12月中に事務局にご連絡いただきたい。
- 次回の検討会では検討会報告書最終案について議論する。
- ・次回の開催について、1月中旬から下旬を予定することとなった。

以上